

第15回世界陸上競技選手権大会（2015／北京）マラソン代表選手選考要項

1. 編成方針

本大会でのメダルを含めた複数入賞を目指す選手団編成とする。

2. 選考競技会

(1) 男子

- ① 第17回アジア競技大会（2014／仁川）
- ② 第68回福岡国際マラソン選手権大会（2014／福岡）
- ③ 東京マラソン 2015（2015／東京）
- ④ 第70回びわ湖毎日マラソン大会（2015／大津）
- ⑤ 第64回別府大分毎日マラソン大会（2015／別府）

(2) 女子

- ① 第17回アジア競技大会（2014／仁川）
- ② 第6回横浜国際女子マラソン大会（2014／横浜）
- ③ 第34回大阪国際女子マラソン大会（2015／大阪）
- ④ 名古屋ウィメンズマラソン 2015（2015／名古屋）
- ⑤ 2014北海道マラソン（2014／北海道）

3. 選考基準

編成方針に基づき、本大会の参加標準記録（男子：2時間18分00秒 / 女子：2時間44分00秒）を有効期間中に満たした競技者の中から日本代表選手を選考する。

内定条件と、選考条件を下記の通り定める。

(1) 内定条件

選考競技会①の男女マラソンの優勝者

(2) 選考条件

男女それぞれの選考競技会②～④で日本人3位以内の競技者、及び⑤で日本人1位の競技者から、下記の1)から2)の優先順位で選考する。

- 1) 日本陸連設定記録（男子：2時間06分30秒/女子：2時間22分30秒）を有効期間中に満たした競技者（最大1名）
- 2) 本大会での活躍が期待される競技者。ただし、原則ナショナルマラソンチームの競技者。

4. 選考方法

(1) 選考基準(1)による選考は、即時内定とする。

(2) 選考基準(2)による選考は、全ての選考競技会終了後、編成方針及び選考基準に則り、強化委員会にて選考原案を作成し、選考委員会で選考し、理事会において決定する。

5. その他

(1) 参加標準記録の有効期間は、2014年1月1日から全ての選考競技会が終了するまで。

(2) 日本陸連設定記録の有効期間は、2014年4月1日から全ての選考競技会が終了するまで。

(3) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数は国際陸上競技連盟が定めるエントリー数の上限の枠を保証するものではない。

(4) 本大会で8位入賞した日本人最上位の男女各1名の選手を、第31回オリンピック競技大会(2016／リオデジャネイロ)（以下、リオデジャネイロ・オリンピック）の代表選手に内定する。ただし、リオデジャネイロ・オリンピックの参加標準記録を有効期間内に満たす事を条件とする。

(5) 選考基準(2)-2)からの選考は、選考競技会に複数回出場した場合は、定められた期日での調整能力を重視するため、初回の選考競技会の成績と競技内容を評価する。ただし、2014北海道マラソンに出場した女子選手については、その他選考競技会3大会のいずれか1大会に出場した場合、その大会の成績も評価される。

(6) 本大会までに故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合、代表を取消すことがある。

(7) 本大会は、2015年8月22日～8月30日まで北京（中国）で開催される。

以上